

2021年度事業報告

公益財団法人豊田市国際交流協会(TIA)は、1988年の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念の下、国際交流・国際理解・多文化共生を三本柱とし、地域の国際化を推進しています。

2021年度は、国連が提唱し2030年までに達成を目指しているSDGs(持続可能な開発目標)とそのスローガンである「誰一人とり残さない」を常に念頭に置いて事業を実施してまいりました。

また、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により海外からの来訪者が減少し、予定していた国際的なイベント等も一部開催中止となるなど、大きな影響がありました。そうした状況においても、感染防止対策を徹底しながらオンラインの活用等新しい形を取り入れるなど課題にも取り組んでまいりました。

中でも、新型コロナウイルスの影響で困難な状況にある外国人住民もいる中、これまでの地球市民会議を発展させ、外国人住民同士の共助から解決の糸口を見出すことができるよう外国人のコミュニティやネットワークづくりにつながる活動の支援を強化してまいりました。インドネシアやフィリピンの方々など、ネットワークづくりのイベントを開催するなど、これまでつながっていなかった人同士が協力し合える関係となるきっかけとすることができました。こうした支援を通じて外国人が暮らしやすい多文化共生の街づくりを推進いたします。

豊田市には、コロナの影響などにより減少したものの、約70か国・約1万7千人と多くの外国人が暮らしています。コロナとの共存が続くものと考えざるを得ない中で、TIAは誰一人取り残さず、誰もが暮らしやすい国際まちづくりの推進に向け、活動を続けてまいります。

1 公益目的事業1

地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

【国際交流】

(1) 国際親善使節の受入れ

豊田市を訪問する外国人学生等の国際親善使節を受け入れ、市民との交流による相互理解と友好親善を深める予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問はありませんでした。

(2) ナショナルデーの開催

外国人住民や海外経験のある日本人等のボランティア活動として、世界の文化や習慣を紹介する「ナショナルデー」を開催しました。様々な国について

外国人講師から知ること、異文化への理解を深める場となり、市民主体の国際交流の促進につながりました。今後は、外国人住民による自発的な実施を促すなど、多文化共生につながる異文化への理解・交流の場となるよう取り組みます。

実施国 インド(参加者25人)
ロシア(参加者30人)
アメリカ(参加者46人)
ポーランド(参加者30人)

(3)「国際の日」事業の開催

TIAが設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に、国際社会の一員であることを意識し、行動するきっかけとすることを目的に以下の事業を実施しました。

ア 「国際の日展」の開催

TIAやボランティアグループ等のそれぞれの取組の展示や講演会などにより、参加者が「国際」について考えるきっかけとすることができました。

時 期 10月1日～3日

内 容 TIA事業・ボランティアグループの活動等のパネル展示や英語でデトロイトを紹介する講演会、ボランティアグループによるベトナムの伝統的な遊び体験など

参加者 300人

イ クリスマスマーケット

豊田市駅周辺エリアマネジメント研究会が主催する「TOYOTA STREET MARKET」に参画・協力し、クリスマスにちなんだワークショップを行い、街のにぎわいの創出に協力することができました。また、TIAに来たことがない方々がTIAの活動を知るきっかけとすることができました。

時 期 12月4日

内 容 ワークショップ(間伐材を利用したクリスマスオーナメント作り)開催とTIAの事業紹介パネル展示

場 所 コモスクエア前(豊田市停車場線)

参加者 180人

(4)地域の国際交流に関するイベント等への協力・支援事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める地域の各種交流事業に協力・支援しました。

ア 国際紙フォーラム

新型コロナウイルス感染症対策のため、海外からの参加者等の来日がかかわ

ず、通訳ガイドボランティアの派遣はありませんでした。

イ 世界ラリー選手権

新型コロナウイルス感染症のため大会が中止となり、通訳ガイドボランティアの派遣はありませんでした。

ウ 豊田市・デトロイト市姉妹都市提携60周年記念事業

豊田市が行うデトロイト市との記念事業に協力しました。

① 高校生オンライン交流の支援

時 期 7月～2月

方 法 オンライン（Zoom）

内 容 豊田市、デトロイト市の高校生同士による英語と日本語でのオンライン交流の支援

② 「デトロイト市交換学生OBOG交流会」

時 期 10月16日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 歴代の交換学生事業関係者が集い、デトロイトに関連する思い出写真等でのコラージュ作成や60周年記念動画、デトロイト担当者からのメッセージ動画鑑賞など、参加者同士が旧交を温め派遣年度を越えた、今後につながる交流の機会の提供

参加者 38人（うち、5人オンライン参加）

③ まちなかを巡るスタンプラリー終着点として協力

時 期 10月1日～10月24日

エ Think SDGs 遊んで学ぶ夏休み エコフルタウンで自由研究

エコフルタウンでSDGsについて考える子ども向けイベントに協力しました。

① 「インド式算数にチャレンジ！」

時 期 7月31日

内 容 小学4年生以上を対象に、インド人講師からインド式算数やインドでの暮らしを学ぶ

② 「ハングル文字書き方教室」

時 期 8月1日

内 容 小学生を対象に、韓国人講師から簡単なハングルや韓国について学ぶ

【国際協力】

(5) 国際協力機構(JICA)ボランティア説明会開催事業

JICAと協力し、JICAボランティア募集「体験談&説明会」を開催する予定でしたが、開催がありませんでした。なお、窓口では希望者への募集資料の配布を行いました。

2 公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動等支援に関する事業

【人材育成】

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

個人及びボランティアグループの年度ごとの登録・更新を促進し、新たに登録を希望する人には具体的なボランティア活動を紹介しました。通訳、交流、支援などの登録があり、多様な活動を展開しました。

ア 個人ボランティア

にほんご教室ボランティア(53人)

通訳・翻訳ボランティア(45人)

災害サポートボランティア(5人)

おもてなし英語ガイドボランティア(13人)

ホームステイ・ビジットボランティア(9人)

(※人数は重複します。)

イ グループボランティア(11)

国際交流

E-IFF

英語ボランティアGLOBE

オープンハート

日本文化紹介グループ

豊田外国人おもてなしガイドネットワーク

多文化共生

Alpha日本語教室

日本語サロン

トルシーダ

にほんごドットJP

チェ・ベトナム

国際協力

Child Needs Home

(2) ボランティア意見交換会の開催

ボランティアグループの活動状況や活動計画についての情報共有や意見交換のため、ボランティア総会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため開催しませんでした。

(3) 国際理解教育

ア 国際理解教育セミナー

人権・平和・環境といった地球規模の様々な問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを狙いとした啓発事業を行いました。本年は各テーマの導入的な位置づけで、ゲーム形式や身近な環境など親しみやすい方法や題材で課題について考えるきっかけとすることができました。今後は若者等参加者の更なる議論を深める場となるように取り組みます。

①「君ならどうする?! すぐろくでSDGsを学ぶ」

時 期 8月21日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 小学4年生以上を対象に、すぐろくゲーム等を使ったワークショップを通じてSDGsについて学ぶ

参加者 27人

②「地球のためにできること ～矢作川から世界へ」

時 期 11月27日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 小学4年生以上を対象に、矢作川研究所研究員から身近な川について学び、ワークショップを通じて環境に配慮した今後の自分の行動を考える

参加者 13人

イ こども国際クラブ

国際化の将来を担う子どもたちの国際感覚を養い、様々な文化的背景を持つ人々に共感できる気持ちを育むことを目的に活動を行いました。子どもたちが自分たちの文化・習慣との違いについて理解するきっかけとなりました。今後更に、子どもたちが主体的に学び、子どもの目線で文化や習慣の違いを理解し、交流しながら共感できる気持ちを育むよう取り組みます。

時 期 4月18日～3月13日（日曜日 全15回）

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 小学4～6年生を対象に、海外出身の講師等による自分の国の文化・習慣についての講義やその国のスポーツ・遊びの体験などく学習した国>インド、フィリピン、インドネシア、モンゴル、イタリア、韓国、ミャンマー、中国、フランス

参加者 16人

ウ 国際理解教育授業

市内の小中学校、高校を対象に、国際理解教育に関する授業内容の相談や、外国人住民やTIA職員による講師の派遣などの支援を行いました。

時 期	学校名	参加学年 人数	講師派遣	内 容
7/14	浄水小	4年生 132人	TIA職員	コミュニケーション条例に基づく、外国人住民との接し方について
9/30	美里中	1年生 196人	TIA職員	同上
10/26	平和小	5年生 47人	フィリピン出身者、日本人大学教授	世界の稲作文化の紹介とフィリピンの稲作、お米を使った料理について
11/16	美里中	1年生 32人	ベトナム出身者	ベトナムの文化や生活、SDGsの取組などについて
1/20	杜若高校	1年生 87人	TIA職員	マイクロアグレッション（微細な攻撃性／見えない差別）と多様性について
1/21	中山小	6年生 101人	ブラジル出身者/TIA職員	ブラジルの文化や歴史、日系移民について
相談	猿投台中	1年生	相談	イスラム文化を英語で紹介できる講師の派遣について（相談）
相談	市木小	6年生	相談	ブラジル文化の紹介について（相談）
合計	8校	595人		

(4) 外国語講座

ア 母語保持教室

中国・ブラジルにつながりを持ち、母語の保持を希望する子どもたちを対象として、入門、初級、中級のレベル別の教室を実施し、参加者のそれぞれのレベルに合わせた言語能力の向上や文化について学ぶ機会とすることができました。母語保持は、文化の伝承やアイデンティティの確立の観点から保護者やその国の出身者などの関わり方などが大切であるとの思いから、事業のあり方を見直します。

① 中国語

時 期 1期：4月30日～7月16日
2期：8月6日～11月12日
3期：11月26日～3月11日
各期間の毎週金曜日（全30回）

場 所 とよたグローバルスクエア

参加者 1期：27人
2期：22人
3期：27人

②ポルトガル語

時 期 4月24日～7月17日
毎週土曜日（全10回）

場 所 とよたグローバルスクエア

参加者 1期：4人
2期：新型コロナウイルス感染症等により中止
3期：新型コロナウイルス感染症等により中止

イ 英語保持教室

海外で過ごした経験のある小学3年～6年生を対象に、それぞれのレベルに合わせた英語保持活動をすることができました。母語保持と同様に、保護者の関わり方が大切であるとの思いから事業のあり方を見直します。

時 期 1期：5月14日～7月16日
2期：9月3日～11月5日
3期：1月7日～3月11日
毎週金曜日（全30回）

場 所 とよたグローバルスクエア

参加者 1期：23人
2期：17人
3期：18人

【市民活動支援】

（5）草の根の国際交流の推進

豊田市地球市民会議

地球市民会議を発展させ、外国人住民同士が助け合えるコミュニティやネットワークづくりを目指し、外国人グループの活動の支援を行いました。その結果、インドネシア・フィリピンの人たちがイベントを実施し、各活動を通じて外国人住民同士のネットワークの強化や新たなつながりが生まれる機会となりました。また、他の外国人グループにとっても参考になる取組と

なりました。キーパーソンとなる方や活動の中心となるグループなどの状況が国により違いがあるため、活動の促進など支援の方法を工夫しながら取り組みます。

ア 「インドネシアデー@豊田市」開催の支援

時 期 11月20日～21日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 インドネシア出身者の有志グループやインドネシア留学生協会が大使館の協力を得て、伝統織物の展示や伝統舞踊・音楽の披露、大使との意見交換会、パスポート等の手続きや個別相談等の臨時領事館サービスなどの実施を支援

参加者 768人

イ 「フィリピンスタイルクリスマスキャロル2021inとよた」開催の支援

時 期 12月11日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 フィリピンにつながりを持つ市民やその家族などの有志によるクリスマスコスチュームのコンテスト、バンド演奏、ゲームなどの実施に向けた支援

参加者 110人

(6)とよたグローバルスクエアの運営

地域の国際交流・国際理解の拠点として、交流イベントや海外に関する情報、外国人住民向けの生活情報などの提供のほか、各種相談への対応をしました。

ア ライブラリー、雑誌コーナー等の運営

2020年度より展示を始めた各国の人形や民芸品、楽器等をイベント等で活用し、海外の文化を身近に感じる機会としました。

イ 無線LANの設置

誰でも接続できる無線LANサービスを提供しました。

ウ 掲示板等情報コーナーの充実

掲示板等情報コーナーを充実させ、多言語の各種情報を収集・提供しました。

3 公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

【多文化共生】

(1) とよた日本語学習支援システム運営事業

生活に必要な日本語学習の機会を提供するため、「とよた日本語学習支援システム」による教室を運営しました。教室開催のための日々の運営に加え、今後の教室運営を担う新たなプログラム・コーディネーターの養成講座や、ボランティア説明会の開催により、教室の運営に必要な人材の育成・確保に努めました。

ア プログラム・コーディネーター養成講座

学習者の日本語能力や生活力の向上に加え、地域参加促進を目的とする教室を企画・運営する人材の育成に努めました。

時 期 12月11日～3月12日（全10回）

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 10回（40時間）の講座に加え教室参加（3回）を通して、システムが目指す教室の目的や方針、実際の教室活動の具体的な流れ等、運営に必要な力を養う

受講者 8人（うち修了者8人）

イ 日本語ボランティア募集説明会

市内のボランティアグループによる日本語教室の連携・協力体制の強化を図り、外国人住民がより多くの日本語学習の機会を得られる環境づくりをするため、日本語ボランティア説明会を開催しました。

時 期 8月28日

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 TIAで行う4つの日本語教室が合同で、ボランティアに興味を持つ方々への活動内容などの説明会を開催

参加者 27人（うち、オンライン参加4人）

(2) 日本語講座

「とよた日本語学習支援システム」による教室を開催し、地域で日常生活を円滑に営むために必要な日本語能力及び地域住民として必要な基本的知識を身につける機会にできました。更に学習を必要とする方々に教室に関する情報を伝える取組を強化し、より多くの方々に学習機会を提供できるように取り組みます。

ア TIAにほんごひろば 会話クラス

時 期 第1期 4月17日～6月5日

第2期 6月19日～7月17日

第3期 9月4日～10月9日

第4期 1月22日～2月26日

土曜日（全23回）

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 日本語を全く話すことができない外国人を対象に、対話型の日本語教室を開催

受講者 第1期 6人
第2期 9人
第3期 8人
第4期 12人

イ TIAにほんごひろば 読み書きクラス

時 期 第1期 4月17日～6月5日
第2期 6月19日～7月17日
第3期 9月4日～10月9日
第4期 1月22日～2月26日
土曜日（全23回）

場 所 とよたグローバルスクエア

内 容 日本語を少し話すことができるが、簡単な読み書きを学びたい人を対象とした日本語教室を開催

受講者 第1期 8人
第2期 10人
第3期 9人
第4期 10人

ウ TIAにほんごひろば オンラインクラス

時 期 第1期 4月16日～6月4日（会話）
第2期 6月18日～7月16日（会話）
第3期 7月24日～8月28日（読み書き）
第4期 10月8日～11月26日（会話）
第5期 2月4日～3月18日（会話）
全30回

方 法 オンライン（Zoom）

内 容 子育て等の事情により教室に通えない外国人を対象に、オンラインで日本語教室を開催

受講者 第1期 7人
第2期 6人
第3期 6人
第4期 9人
第5期 14人

エ つながるにほんご

時 期 第1期 5月15日～7月17日
第2期 9月11日～10月30日
第3期 1月15日～3月5日

土曜日（全26回）

場 所 保見交流館 大会議室

内 容 保見近隣の外国人を対象に、地域住民とのつながりを大切にしながら生活に必要な日本語を学ぶ

受講者 第1期 14人

第2期 17人

第3期 10人

オ アバンセ日本語教室

時 期 第1期 4月11日～7月4日

第2期 8月22日～12月12日

第3期 1月16日～3月27日

隔週日曜日（全22回）

場 所 末野原交流館 大会議室

内 容 末野原近隣の外国人を対象に、地域住民とのつながりを大切にしながら生活に必要な日本語を学ぶ

参加者 第1期 7人

第2期 14人

第3期 17人

(3) 多言語相談事業

ア 多言語相談事業

ポルトガル語・中国語の相談員を配置し、生活全般の相談のほか、行政手続や労働、医療等の情報提供、関係機関への仲介支援を行いました。

時 期 随時

件 数 563件

イ 海外帰国・出国児童生徒に関する相談事業

海外で生活を始める家族、海外生活を終えて帰国した家族向けの子どもに関する相談に、豊田・みよし地区海外子女教育研究協議会の教師及び当協会職員が対応しました。

時 期 随時

件 数 6件

(4) 通訳派遣事業

豊田市役所の各部署からの通訳依頼に対応し、外国人住民の生活のサポートをしました。

時 期 随時

件 数 7件(ポルトガル語、ベトナム語)

(5) 翻訳事業

豊田市役所の各部署からの翻訳依頼に対応し、外国人住民の生活のサポートをしました。

時 期 随時

件 数 68件

(6) 豊田市外国人災害サポートボランティア支援

災害時の外国人の被災軽減を図るための啓発活動等を行いました。出身国により地震をあまり経験したことがない参加者もあり、多くの質問や意見が出され、防災の基礎知識を知る機会となりました。

ア 日本語教室に参加する外国人への防災啓発講座の開催

時 期 ①10月23日

②11月28日

場 所 ①保見交流館 工作室

②末野原交流館 大会議室

内 容 豊田市が作成したハザードマップを使用し、地震発生時の被害状況の想定や避難所・備蓄品・減災の取組の紹介など

参加者 ①5人

②11人

イ 「豊田市外国人災害サポートボランティア」関連業務

災害時にTIAに開設する災害時多言語支援センターの体制の見直しを行いました。

(7) 外国人こども教育支援事業

外国につながりを持つ学習支援を求める子どもたちの通うNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳支援員を派遣し、日本語指導が必要な児童の教育環境を改善する一助となりました。教育支援のニーズがある一方で、コロナ禍で地域のボランティア等支援の担い手の確保が難しい状況が続いています。

時 期 4月1日～3月31日(毎週火曜日～金曜日)

派遣先 NPO法人子どもの国、NPO法人トルシーダ、NPO法人保見ヶ丘国際交流センター、豊田市立西保見小学校、豊田市立東保見小学校(計5団体)

内 容 各教室での子どもたちへの指導補助や保護者対応のほか、ポルトガル語の通訳・翻訳など

(8) 外国人向けの生活情報の発信事業

外国人住民が生活する上で大切な情報を調査、選別、翻訳し、TIAのホームページに掲載しました。外国人住民が必要な情報を必要な時に入手できるように努めました。

4 公益目的事業4

国際交流・国際協力、多文化共生を推進するための情報を提供する事業

(1) TIA機関誌発行事業

TIAの事業報告「TIAレポート」を発行し、国際交流の推進とTIAに対する協力支援を得るため、県内国際交流担当部署・市内各種国際交流団体・TIA賛助会員・関係者及び一般市民に配布しました。

発行回数 1回(7月)

発行部数 1,500部

(2) TIAの情報提供

Instagramの開設及び公式LINEアカウントの取得を行い、SNSを活用してTIAの行うイベント・講座の周知等を効果的、効率的に行いました。

5 その他ボランティアグループ等の活動実績

TIAに所属するグループ活動に対する支援を行いました。

(1) 国際交流

ア E-IFF

定例会のほか、以下の活動を行いました。

① 英語サロン(公益目的事業1(2)参照)

外国人講師の英語による講演会と講師との交流

第1回 内容「Russia Today」

時期 7月11日

参加者 30人

第2回 内容「Tour of America」

時期 10月24日

参加者 46人

イ 英語ボランティアGLOBE

定例会のほか、以下の活動を行いました。

① ナショナルデー(公益目的事業1(2)参照)

外国人講師の英語による講演会(ボランティアによる逐次通訳付

き)と講師との交流

第1回 内容「インド」

時期 6月13日

参加者 25人

第2回 内容「ポーランド」

時期 3月20日

参加者 30人

ウ オープンハート

ホームステイの受入活動を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により海外からの希望がなく、2020年度に引き続き2021年度は、グループミーティング以外の活動がありませんでした。

エ 日本文化紹介グループ

外国人向けに、茶道、書道、着付け、折り紙、絵手紙、生け花の体験や料理講座等を通して日本文化を紹介していましたが、2020年度に引き続き2021年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、活動を行いませんでした。

オ 豊田おもてなしガイドネットワーク

海外からの来訪者に豊田市の観光スポットをガイドする活動等を行っていましたが、2020年度に引き続き2021年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、ガイド活動を行いませんでした。代わりに、英語による公的機関等へ同行する活動を新規で実施しました。

(2) 多文化共生

ア 日本語サロン

毎週水曜日に日本語教室を開催しました。

イ Alpha日本語教室

新型コロナウイルス感染症の影響により日本語教室は休止となりましたが、年度後半から、2022年度からの教室の再開に向け、方法などの検討を行いました。

ウ トルシーダ

18歳までの不就学、不登校の外国につながるの児童・生徒を対象に、学校や関係者と連携を図り、日本語指導・教科学習指導・中卒認定試験・高校受験指導等の学習及び相談を行いました。

エ にほんごドットJP

日本語教室の開講を目指しミーティングを行いましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により教室は休止となりました。

オ チェ・ベトナム

地域で暮らすベトナム出身の人々により、毎週土曜日に子ども対象のベトナム語母語保持教室を開催しました。また、10月の国際の日に、ベ

トナムの遊びであるダーカウの体験を開催し、来場者との交流を深めました。

(3) 国際協力

ア Child Needs Home

ミャンマーの子どもたちの生活支援のため、10月の国際の日に雑貨等のフェアトレード品販売の活動を行いました。

6 法人管理部門

(1) 理事会・評議員会開催状況

ア 理事会

日程	議事及び報告
第1回 2021年 6月1日	議案 第1号 2020年度事業報告及び決算について 第2号 2021年度第1回評議員会の開催について 第3号 公益財団法人豊田市国際交流協会就業規則の一部改正について 第4号 公益財団法人豊田市国際交流協会臨時職員の就業等に関する規則の一部改正について 第5号 公益財団法人豊田市国際交流限定職員の就業等に関する規則の一部改正について 報告 第1号 代表理事の職務の執行状況について 第2号 資産の運用状況について
第2回 2021年 6月18日	議事 第6号 理事改選に伴う理事長(代表理事)の選定について 第7号 理事改選に伴う副理事長(代表理事)の選定について 第8号 理事改選に伴う専務理事(代表理事)の選定について
第3回 2021年 12月24日	議事 第9号 公益目的事業の体系の改定に伴う変更認定の申請及び2022年度事業計画及び収支予算(損益)案の作成について
第4回 2022年 3月17日	議案 第10号 2022年度事業計画及び収支予算(損益)について 第11号 公益財団法人豊田市国際交流就業規則の一部改正について 第12号 公益財団法人豊田市国際交流給与規則の一部改正について 第13号 公益財団法人豊田市国際交流再任用職員の就業等に関する規則の一部改正について 第14号 公益財団法人豊田市国際交流臨時職員の就業等に関する規則の一部改正について 第15号 公益財団法人豊田市国際交流限定職員の就業等に関する規則の一部改正について 報告 第3号 代表理事の職務の執行状況について 第4号 資産の運用状況について

イ 評議員会

日程	議事及び報告
第1回 2021年 6月18日	議事 第1号 2020年度決算の承認について 第2号 理事の選任について 第3号 定款の一部変更について 報告 第1号 2020年度事業報告について 第2号 2021年度事業計画及び収支予算(損益)について

ウ 監事監査

日程	内容
2021年 5月19日	2020年度事業報告及び財務報告について

(2) 評議員一覧

1	評議員	井奥博之	元愛・地球博 事務次長
2	評議員	朽木英次	トヨタ自動車株式会社 総務部部長
3	評議員	近藤恭弘	豊田商工会議所 常議員
4	評議員	寺部暁	学校法人安城学園 理事長
5	評議員	松岡由美子	国際ソロプチミスト豊田 理事
6	評議員	安田明弘	豊田市 副市長
7	評議員	山本浩司	豊田市教育委員会 教育長

(3) 役員一覧

1	理事長	豊田彬子	公益財団法人あすて 理事長
2	副理事長	小島洋一郎	公益財団法人豊田市文化振興財団理事長
3	専務理事	阪峯秀明	トヨタ自動車株式会社
4	理事	大井田良彦	共和産業株式会社 代表取締役社長
5	理事	栗本光太郎	豊田市経営戦略部 部長
6	理事	湊裕	連合愛知豊田地域協議会 事務局長
7	理事	ムルヨノ	一般社団法人トヨタインドネシアグループ 代表理事
8	理事	吉村達也	豊田市商業連合協同組合 代表理事

1	監事	小嶋正道	東海税理士会豊田支部 副支部長
2	監事	藤本聡	豊田市総務部 部長

7 附属明細書

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。